

団体名	兵庫丹波オオムラサキの会		
団体の所在地	丹波市	代表者名	樋口 清一

1. 事業名	兵庫丹波の里山空間にオオムラサキ飛翔させる住民の会を発足する		
2. 実施期間	平成23年4月～平成24年10月		
3. 主な実施場所	①篠山市と丹波市の里山空間でのエノキおよびオオムラサキの分布調査活動 ②9小学校、1高校、1企業でのオオムラサキの飼育指導および環境学習支援および地域活動支援を実施 ③丹波の森公苑で展示飼育および啓発活動		
4. 活動形態	団体立ち上げ		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>目的 兵庫丹波オオムラサキの会は小学校区を最小単位とした地域住民主体の地域活動として国蝶・オオムラサキが飛翔する里山空間の創造を目的としている</p> <p>活動</p> <p>調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オオムラサキの食樹エノキ分布のマップ化を実施</li> <li>・エノキマップをもとに越冬幼虫の探索および保全を実施</li> </ul> <p>啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エノキの分布把握のため篠山市、丹波市小学校6年生に「エノキを探して」チラシを配布、キャンペーンを実施</li> <li>・篠山市と丹波市の9小学校で展示飼育簡易ケージを設置し環境学習支援を実施(対象児童数350名)</li> <li>・地域連携高校1校および1企業にも展示飼育ケージを設営し地域活動を支援</li> <li>・丹波の森公苑では見る触れるをモットーとした展示飼育を実施(幼児～高齢者約4000名の来苑者)</li> <li>・丹波の森公苑で地域住民や児童の参加を得て放蝶会を開催</li> <li>・飼育小学校の児童達や見学者にオオムラサキを飼育する意義やオオムラサキの生態を理解してもらうため「国蝶オオムラサキ」(つくろうオオムラサキが舞う里山空間)の冊子を作成、配布</li> </ul>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>成果</p> <p>准絶滅危惧種オオムラサキの生息環境が生物多様性を育むことへの理解が深まる。 健康な里山づくりへの理解が深まった。 地域住民のオオムラサキへの関心が高まった。</p> <p>反省点</p> <p>冊子の作成が観察・見学者の多い6～7月に間に合わなかった。</p>		
7. 成果物	「国蝶・オオムラサキ」(つくろうオオムラサキが舞う里山空間)冊子を3000部作成 「エノキを探してください」のチラシを3500枚作成		
8. 活動写真	   <p>丹波の森公苑放蝶会</p> <p>丹波の森公苑観察会</p> <p>小学校飼育ケージ (鳥ケージ利用)</p>		